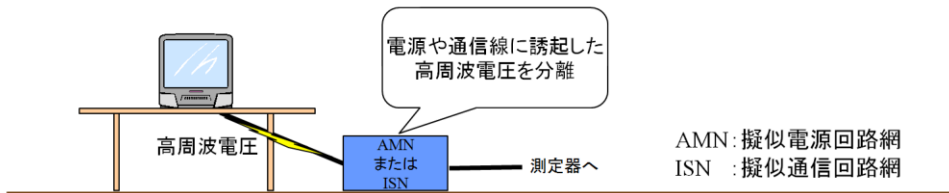


9. 伝導妨害波測定

装置の交流電源線や通信線に重畳される高周波電圧をAMNやISNで分離し測定する。

代表的測定周波数:150kHz~30MHz(規格によって異なる場合がある)



福島県ハイテクプラザ EMC-ロメモ®

装置の電源線や通信線に重畳された高周波電圧を、AMNやISNにより分離して、その強さを測定します。

AMNは電源線、ISNは通信線に挿入します。

測定場所としては、シールドルームや電波暗室が用いられます。

なお、通信線(通信ポート)は、VCCI技術基準によれば

「複数利用者に直接接続する広域電気通信ネットワーク(例:公衆電気通信ネットワーク(PSTN)、ISDN、xDSL他)、ローカルエリアネットワーク(例:イーサネット、トークンリング他)および類似のネットワークに接続することを意図して音声、データ、信号伝送を行うための接続ポイント。

注;試験システムにおいて各機器間を相互接続するポート(例:RS232、IEEE規格1284(パラレルプリンター)、USB、IEEE規格1394(Fire Wire)、HDMI、他)は、本項の通信ポートに該当しない。」

と定義されています。

※「資料を読まれる方に」もお読みください。